

第 17 回議会報告会 報告書

地域名	伊佐地域		
年月日	平成 30 年 4 月 24 日 (火)	会場名	伊佐ふれあい倶楽部
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 20 分
参加数	男性 18 人	女性 2 人	合計 20 人
班 長	藤原芳巳	司会者	藤原芳巳
報告者	西田雄一	書記	足立隆啓
班員名	藤原芳巳、西田雄一、足立隆啓		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<ul style="list-style-type: none"> ① 養父市文化会館（仮称）建設用地について、有害物質等の調査はしたのか。 ② 日本一農業をしやすいまち、とあるが個人農業者にも、補助を受けられる制度にすべきだ。 ③ 特区の企業に補助金は出ているのか。 ④ 養父市文化会館（仮称）建設用地取得の土地単価は正しいか、何を基準にしているのか。 ⑤ やぶパートナーズの事業は、コンビニをはじめ、利益の出ない分野が多いと聞く、存続させる意味があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ① ボーリング調査等を行っており、現在のところ有害物質等の検出はない。 ② 集落営農組合など、受け皿になる組織があると支援は受けやすくなっている。 ③ 特産農産物、例えば、朝倉山椒の苗木、にんにくの種子購入などへの補助はあるが、他にはない。 ④ 当局は正しく対処したと認識している。 ⑤ 農業特区と切り離せない会社である。存在意義はあり、多くの事業も成果を上げている。コンビニは撤退した。 	
意見交換会での質疑	<ul style="list-style-type: none"> ① 議会報告会をしているが、報告会ではなく、住民の意見を聴く会にして地域の声を市に届けていただきたい。 ② タウンミーティングで文化会館の話が出たが、建てる前提の話だった。有識者によって決めたというが、だれが決めたのか。 ③ 小規模特認校制についてだが、小さな学校では人間性は育たない、子供は大きく羽ばたかせたい。統合を進めてきたのに、今なぜという感がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 議会でも、報告会の在り方については考えているところである。少し時間をいただきたい。 ② 養父市文化会館等基本構想策定委員会で地域や文化協会、商工会など 14 人の委員が会議を重ね、市へ答申を行った結果を受けて進めているものである。 ③ 今年は 3 人の入学があった。大勢が良いのか、手厚く指導できるのが良いのかは、今始まったばかり、答えはこれからである。 	

市 民		対 応
その他 (提言など)	<p>① 市民と行政の間の溝が深いと感じている。議員は、この溝を埋める役割を担ってほしい。市民のハートの部分を理解していただきたい。</p> <p>② 遊休地や放棄地の解消に取り組んでいる。台風被害に対する建設課の対応が不十分である。担当者の引継ぎは、きちんとやっていただきたい。</p>	<p>① 意見としてお聞きした。</p> <p>② 国・県の仕事の部分もあるので、確認させていただく。</p>
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成 30 年 4 月 27 日

報告者 2 班 班長 藤原 芳巳

